

「飯谷町住民説明会」（第8回）質疑要旨

日時：平成29年3月22日（水） 14：50～16：00

場所：長柱公会堂（徳島市飯谷町東分）

出席者：市民29人、徳島市3人

質疑応答の概要は次のとおり。

Q.	産業廃棄物と一般廃棄物を区別せず環境問題に取り組んでほしい。
A.	本市でできることは行います。環境問題についても、環境影響評価を待たずに大気測定等を進めていきます。
Q.	先日の新聞記事で、費用の問題が解決したように書かれていたがどういうことか。
A.	去年の6月から小松島市、勝浦町、松茂町、石井町及び北島町と事業費の負担割合や運営方法について話し合ってきた結果、合意に至ったということです。
Q.	新施設に学習施設を設けず、廃園、休校となった施設を活用し、年間を通して市内中の小学生が、環境問題の勉強をする場として活用してほしい。
A.	リサイクル施設で国からの交付金をもらうためには、何らかの啓発施設を設ける必要があります。
Q.	新施設への搬入台数はいくらぐらいになるのか。
A.	平成27年度の実績で延べ379台／日です。
Q.	現在でも県道の交通量は非常に多く、新たに増加する搬入車両はどのような時間帯になるのか。
A.	朝の8時30分から始業となりますが、市内一円のごみ回収後の搬入となることや、回収ルートにも長短があるため、搬入時間帯にはバラツキがあるものと思われます。9時30分頃から搬入が始まり16時頃まで続くものと思われます。
Q.	収集車両がごみ汁をこぼして搬入ルートが臭くなるのではないかと。
A.	収集車両にはごみ汁を溜める設備はありますが、夏場など生ごみに水分が多い時期には溢れ出ることが考えられます。
Q.	地元の定義とはどのようなものか。
A.	多家良行政地区を考えています。
Q.	施設稼働まで約10年もの期間を要するが、10年後に地元の活性化を相談するのは遅い。これからの10年で相談をしていきたい。
A.	地元住民との同意後、施設建設後でなければできないことは除き、できることから相談したいと考えています。
意見	小学校を生涯学習の場として残してほしい。
意見	反対ありきで場を濁す住民に引きずられないように、徳島市がリーダーシップを

	發揮し事業を進めてほしい。
意見	新しい施設に不安はないが、民間施設に対して不安を持つ者もいるため、その不安を取り除く必要がある。
意見	ごみ処理施設は必要不可欠な施設である。建設できるよう頑張してほしい。

以 上